

(様式 2)

広総政第 2034 号

令和 6 年 2 月 16 日

奈良県知事 殿

申請者 奈良県北葛城郡広陵町大字南郷 583 番地 1  
広陵町長 山村 吉由

令和 6 年度「公共交通基本計画推進支援事業」(利用環境整備事業)  
事業計画書

令和 6 年度「公共交通基本計画推進支援事業」について、事業計画書を提出します。

【担当】	
担当部署	広陵町企画総務部総合政策課
職・氏名	主任 岡崎 祐樹
TEL	0745-55-1001
FAX	0745-55-1009
e-mail	sogosesisaku@town.nara-koryo.lg.jp

(様式2) 利用環境整備事業

① 事業名	広陵町地域公共交通の充実のための車両購入及びタクシー支援事業
② 事業区分	利用環境整備事業
③ 事業者	広陵町
④ 設置又は活用 する協議会の 名称及び構成 (該当のある 場合のみ)	1) 名称
	2) 構成
⑤ 事業の方針	1) 現状の課題 <p>広陵町では、移動ニーズの多様化や新型コロナウイルス感染症拡大などを契機として、令和5年7月に従来の定時定路線(3路線)の運行から、定時定路線(1路線)及び予約型乗合バス「のるーと広陵元気号」(2台運行)への運行再編を実施した。</p> <p>従来の定時定路線運行の公共交通を利用しない理由として、令和3年度に実施した住民アンケート調査では、「目的地まで時間がかかる」「目的地の近くにバス停がない」などが挙げられており、それらはのるーと広陵元気号の運行により解消された。</p> <p>しかし、定められたルートではなく、AIが構築したルート運行を行うため、現状車両(12人乗りハイエース)では、大型二種免許が必要であることから運転者不足により、増便や配車時間の容易な変更が実施できていない。</p> <p>また、住宅密集地などの適切な箇所に乗降場所を設置できない、運行中も道幅の狭い道路を避けざるを得ないなど、より効率的な運行を行うことが新たな課題として現れている。</p> <p>また、導入した予約型乗合バスは主に、日中の買い物及び通院等に利用されており、広陵町地域公共交通計画のめざすべき将来像である「笑顔で移動できるまち」の実現に寄与しており、現状、幅広い年代の方に利用いただいている。</p> <p>しかし、妊産婦や乳幼児連れの移動については、緊急時の乗降が可能な移動手段や子どもが泣いても気兼ねなく移動できる手段が望まれる。</p> <p>広陵町において、妊産婦向けにアンケート調査を実施したところ、移動について、現状の公共交通では不安を持たれており、タクシーなど個人単位で移動できる交通手段の確保が課題である。</p>
	2) 事業の目的 <p>上記の課題を解決するため、のるーと広陵元気号の車両を普通自動車(7人乗り)に変更することで、運行の効率化及び輸送サービスの拡充を図る。</p> <p>また、妊産婦向けの事業として、アプリ上でタクシーチケットを配布し、検</p>

診時の移動に活用できるようにすることで、移動に関する不安を解消する。

### 3)これまでの取組

平成 28 年 5 月: 広陵町地域公共交通網形成計画策定

平成 28 年 10 月: 広陵元気号の有償運行を開始

平成 30 年度: 「安心して暮らせる地域公共交通確保事業運行効率化調査検討事業」を活用し、ニーズ調査(アンケート、住民ワークショップ)を実施

令和元年度: 「安心して暮らせる地域公共交通確保事業利用環境整備事業」を活用し、利用環境を整備(バス停環境整備)

令和3年度: 広陵元気号南部支線の一部再編に際し、「安心して暮らせる地域公共交通確保事業利用環境整備事業」を活用し、利用環境を整備(バス停環境整備等)

広陵町地域公共交通計画策定

令和4年度: 広陵町地域公共交通活性化協議会において、「公共交通基本計画推進支援事業」(運行効率化調査検討事業)を活用し、広陵町地域公共交通利便増進計画策定中(住民ワークショップ等の実施)

令和 5 年度: 広陵元気号の運行再編

(中央幹線のダイヤ・ルート再編及びのりーと広陵元気号の導入)

#### (利用促進事業への取組)

- ・近畿運輸局との地域連携サポートプランの締結
- ・バスの乗り方教室の実施(MM)
- ・健康づくり部局との政策間連携(MM)
- ・車両のラッピング及び標語の募集
- ・お買い物ポイント制度の導入(商業施設との連携)
- ・交通シンポジウムの開催
- ・総合時刻表の表紙へ掲載する絵の募集(町内小学校児童を対象)
- ・町公式 Facebook へのいいねによる無料乗車キャンペーン
- ・バスロケーションシステムの導入
- ・スマートフォン決済(PayPay)の導入
- ・町公式 Facebook 及び町公式 LINE を活用した情報発信
- ・まちじゅう図書館の一環で、広陵元気号車内へのリサイクル本の設置

#### 4) 事業を位置付ける計画の名称及び具体的な記載箇所

(今後位置付ける場合は位置付ける予定の計画を記載)

広陵町地域公共交通計画 P35、39、53

(様式2) 利用環境整備事業

⑥事業の内容	1)事業の概要			
	<p>・のるーと広陵元気号用車両購入事業</p> <p>現在12人乗りハイエースを活用し運行している「のるーと広陵元気号」であるが、車体が大きく、AIシステムが案内するルートどおりに運行ができないため、到着時間に影響が生じている。</p> <p>そこで、車体を7人乗りのミニバンタイプに変更し、より効率的な運行をめざす。</p> <p>なお、小学生からイラストを募集し、車両ラッピングを実施する予定。</p> <p>・妊産婦向けタクシーチケット事業</p> <p>自身での移動が困難となる妊産婦を対象に、健診等で利用可能なタクシーチケットをアプリにて配布する。</p> <p>事業実施に当たっては、タクシー事業者等と包括連携協定を締結し、タクシー車両の確保など、対象者に事業を活用いただきやすい環境づくりを行う。</p>			
	2)事業の実施フロー・工程			
4月～6月		車両ラッピング募集(小学生)		
		タクシー事業者等との包括連携協定締結		
		車両購入事業者選定・決定		
7月		車両ラッピング実施		
10月		新車両での運行開始		
		タクシーチケット事業開始(実証)		
3)予算計画(※1)				
事業経費 (a)	寄付金等の収入 見込 (b)	その他補助金等 (c)	補助対象経費額 (d)=(a)-(b)-(c)	
11,400,000円(車両)		5,700,000円	5,700,000円	
1,813,000円(タクシー)			1,813,000円	
補助率 (e)	補助金額 (f)=(d)×(e)	市町村負担額 (g)		
1/3	1,900,000円	3,800,000円		
1/2	906,000円	907,000円		

(※1) 事業費額の算定根拠資料を添付すること